

お知らせ

グリーンインフラ産業展 2026 に出展決定！

当協会は、2026 年 1 月 28 日（水）～30 日（金）に東京ビッグサイトで開催される「グリーンインフラ産業展 2026」に出展いたします。

本展示会は、「持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりに向けて」をテーマに、グリーンインフラに関する技術・製品・サービスが一堂に会する国内最大級の専門展示会です。自然環境の機能を社会資本整備に活用する取り組みとして、SDGs の達成やカーボンニュートラルの実現に貢献するソリューションが紹介されます。

当協会では、地域との連携事例や環境配慮型の取り組みを中心に展示を行い、来場者の皆様との情報交換や新たな連携の機会を創出したいと考えております。

ご来場の際は、ぜひ当協会ブースへお立ち寄りください。

展示会概要

- ・ 会期：2026 年 1 月 28 日（水）～30 日（金）
- ・ 会場：東京ビッグサイト（リアル・オンライン同時開催）
- ・ 主催：日刊工業新聞社
- ・ 入場料：1,000 円（事前登録者・招待状持参者は無料）

会員一覧

正会員	株式会社 アイ機	株式会社イトン	株式会社eco・カンパニー	株式会社 柿崎工務所
	株式会社 ジオック技研	地建興業 株式会社	千代田機電 株式会社	株式会社 中川商店
	ビルダーズサポート 株式会社	株式会社 福田テクノ	富士貴建装 株式会社	株式会社 ライフベース
協力会員	株式会社 シロタ	株式会社 ヒヨシ	株式会社 セーフテック	
賛助会員	株式会社 ハウスワランティ	株式会社 GIR	一般社団法人 不動産検査保証機構 レイウス	
特別会員	株式会社 コンステックホールディングス	株式会社グランテック		



スクリー・プレス工法 協会だより



Vo.016
2025.12 発行

発行：スクリー・プレス工法協会事務局
TEL：(0766)30-2372
FAX：(0766)30-2566
Email：spassoc.info@cons-hd.co.jp

活動報告

令和 7 年 9 月 5 日、(株)グランテック北陸支店の会議室にて役員会が開催されました。今回より、役員会の開催場所を役員の所属企業にローテーションする形式となり、会社訪問も併せて実施されました。お忙しい中、遠方よりご参加いただき誠にありがとうございました。活発なご意見交換と前向きな議論により、協会の今後の方向性がより明確になりました。皆様のご尽力に心より感謝申し上げます。今後とも、より良い協会運営に向けてご協力のほどよろしくお願いいたします。



【議題】

1. 会長挨拶
2. 技術者倫理規程の唱和（濱田副会長）
3. 前回の決定事項の確認
4. 本年度協会活動の中間報告
5. 契約更新料について
6. 役員会の交通費について
7. より良い協会運営を目指して（各役員の意見交換）
8. その他

来年の予定

1 月 21 日(水) SP メンテナンス研修

3 月 6 日(金) 第 17 回 SP 役員会

5 月ごろ SP 総会



7月16日 SP 設計フォローアップ研修



(株)グランテック 南関東営業所
講師 中嶋 寛子

設計研修にご参加いただき、ありがとうございました。
今回は、ボーリング調査の概算から着手した大型案件についてご紹介しました。
例で挙げた案件では、ビルダー様が求める条件や許容範囲についてしっかりと共有し、できるだけ希望に沿った形でご提案できたのではないかと考えております。
営業所内で連携し、社内外の多くの方々のご協力を得て、無事に完工に至りました。
その結果、新たな大型案件のご相談もいただいております、ひとつの案件が次につながる経験となりました。
今後も営業所一丸となって、多角的な視点からご提案できるよう努めてまいります。
なお、SP 工法は複合地盤工法のため、設計のご依頼の際には計画地の地盤状況、微地形、造成の前歴、盛土の有無、周辺の既存柱状図などを確認することが大切になります。
昨今は戸建住宅だけでなく、大型案件でのご相談も増えてきております。
メリット・デメリットを踏まえながら、案件に応じた有効性を整理したうえで、検討工法の一つとしてお含みおきいただけたら幸いです。
私自身も案件を通じて少しずつ学んでいるところです。
今後どうぞよろしくお願いいたします。

9月19日 SP 施工フォローアップ研修

(株)グランテック 特殊工事課
講師 澤田 敏浩

9月19日、グランテック射水営業所にて施工フォローアップ研修を開催いたしました。
協力会社の皆様にも多数ご参加いただき、施工品質のさらなる向上と、現場での対応力強化を目的とした、実践的かつ有意義な研修となりました。
研修中には多くのご質問やご意見を頂戴し、皆様が日頃より SP 工法に真摯に取り組んでくださっている姿勢を、改めて強く感じる機会となりました。こうした前向きな姿勢は、今後の技術研鑽と安全・品質のさらなる向上に向けた大きな一歩であると感じております。



FUKUDATECHONO CHALLENGE



スノーボード競技
ビックエア専用 ジャンプ台
in 茨城県境町

